

2007. 12. 21.

## 第59回アブダクション研究会開催のご案内

アブダクション研究会  
世話人 福永 征夫  
TEL & FAX 0774-65-5382  
E-mail [jrfd117@ybb.ne.jp](mailto:jrfd117@ybb.ne.jp)

第59回アブダクション研究会の開催について、下記の通りご案内を申し上げます。

- (1) 11月17日の前回のアブダクション研究会では、『日本人の心の源流とアブダクション』というテーマで、科学技術・生存システム研究所の 神出 瑞穂 氏にお話をいただきました。長年にわたり研鑽され集積せられた文学・芸術・歴史・民族・生命など、幅広い領域の知見を踏まえて学際的に考究され、日本人の心情を『超いのち主義思想』という形で総括されたもので、これからの世界でわれわれが果たすことのできる潜在力や可能性をも示唆していただいた大変な力作であり、ユニークなご発表でありました。その要点は、次の通りです。
- ① 日本の文化史で特徴的な諸魂諸才（縄魂縄才・縄魂弥才・和魂漢才・和魂洋才・和魂米才）は、日本列島人の生存にかかわる海外からの強いインパクトを受け、アイデンティティが揺らいだときに創られ、自律性をしなやかに回復するのに役立った。
  - ② それぞれの諸魂諸才が時を越えて互いに影響し合い、相互のフィードバック系を多重な形で形成してきている。そして、全ての諸魂諸才のインテグレーションとして『日本人の心』が形成されてきている。
  - ③ 本居宣長は和魂の真髓を『物のあはれ』として捉え、『物のあはれ』を知るとは、物にじかに触れることによって、一挙にその物の心を、外側からではなく内側から、つかむこと、それこそが一切の事物の唯一の正しい認識方法だとする。小林秀雄は、宣長の思想の根幹は止むことのない万事の「生成」という概念だと見る。山本健吉は、「宣長は物の事にふれて心が動く素直な純粹の感動を儒教、仏教で“武装”した生き方より望ましいとした」という。
  - ④ 生命体は、(イ)外界との境界をもち、(ロ)代謝をしてホメオスタシスを維持し、(ハ)自己複製・増殖する、のを特色とする自律分散協調型の生存システムである。エネルギーを得、エントロピーを小さくして、よりよく生きるために、外界の変化に揺らぎながら、部分が多重なフィードバック系を通じて、自律的に協調しながら自己組織化をして、自らを制御している。
  - ⑤ 「大和ごころ」とも言われる、和魂がもつ、しなやかな自律性を中核にして、他国の思想のエキスを栄養にし、自国に溜まった不用な滓（カス）を棄てて、インテグレーションを繰り返して、瑞々しく生き続ける、日本人がもつ生存最優先の思想を『超いのち主義思想』と名づける。
  - ⑥ 『超いのち主義思想』は、まさに、生命と同じように、エネルギーを得、エントロピーを小さくして、よりよく生きるために、外界の変化に揺らぎながら、部分が多重なフィードバック系を通じて、自律的に協調しながら自己組織化をして、自らを制御していく、日本人の心のあり方なのだ。
- (2) 当日は、新たに、(株)トーテックの人材コンサルタントで、NPO 法人IT 未来塾広報担当の 新井 三枝子 氏のご参加をいただきました。今後とも、末永く活躍され、ご指導いただくことを期待いたします。
- (3) 翌日の11月18日には、伊東 義高 氏の『知の分科会』第四会合が、有楽町駅前の江崎事務所で開かれ、活発な論議が展開されました。

既存の領域的な知をベースにして、新たな領域的な知を探索し、それらを広域的な知に組み換えて、より高次の領域的な知を仮説設定的に発見することを目標に、アブダクション研究の飛躍を期して参りますので、各界、各分野の皆様の積極的なご参加をお願いします。

記

◇ 日時 : 2008年1月19日(土) 13:00~17:00(例会)  
17:30~19:30(懇親会)

◇ 場所: 東京文化会館 会議室 (いつもと異なりますのでご注意ください)

東京都 台東区 上野公園 5-45 (JR上野駅 公園口より徒歩1分)  
電話番号 03-3828-2111(代),  
地図参照 <http://www.t-bunka.jp/access.html>

◇ テーマ: 研究発表 杉山 光裕 氏 [(株) エー・アイ・イー研究社 事業推進部長]

『量子コンピュータとアブダクション』

文献案内: 石井茂著「量子コンピュータへの誘い」(04・日経BP)  
J・ジョンソン著=水谷訳「量子コンピュータとは何か」(04・早川書房)  
西野哲朗著「量子コンピュータ入門」(97・東京電機大出版局) ]

◇ プログラム:

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| (1) 諸連絡                           | 13:00~13:10 |
| (2) 研究発表                          |             |
| PART [1]                          | 13:10~14:25 |
| — 休憩(5分) —                        |             |
| PART [2]                          | 14:30~15:45 |
| — 休憩(5分) —                        |             |
| (3) 総合的な意見交換                      | 15:50~16:50 |
| (4) その他の連絡事項                      | 16:50~17:00 |
| (5) 懇親会(楽しく勉強になります。是非積極的にご参加ください) | 17:20~19:30 |



<b>P</b> -1	上野パーキングセンター	24時間 年中無休
<b>P</b> -2	上野駅有料駐車場	5時30分～24時
<b>P</b> -3	上野恩賜公園駐車場(第一)	8時30分～21時30分
<b>P</b> -4	上野恩賜公園駐車場(第二)	8時30分～21時30分
<b>P</b> -5	京成上野駅駐車場	6時から24時

